

福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画(案)

～ 幅広い市民参加に向けて ～

福岡空港の総合的な調査

ステップ2:「対応策検討の前提条件」

平成18年2月

福岡空港調査連絡調整会議

<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

はじめに

福岡空港については、平成14年12月に国土交通省交通政策審議会航空分科会の答申において、「既存ストックの有効活用方策」、「近隣空港との連携方策」、「中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策」等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要があると位置づけられました。

これを受けて、国と地域（福岡県、福岡市）において平成15年度から連携・協力してこの総合的な調査を進めているところです。福岡空港の市民生活に果たす役割の大きさを考えると、調査にあたっては、空港利用者も含めた幅広い市民等の皆さんに対し、積極的に情報を提供するとともに、広くご意見を収集・反映していくなど透明性を確保し、市民等の皆さんと情報や多様な認識を共有して進めていくことが重要です。

そのため、福岡空港調査連絡調整会議では、市民等の皆さんに情報を提供し、幅広くご意見を収集し、検討に反映していく「パブリック・インボルブメント（PI）」を導入することとし、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」（PI計画）を平成16年6月に決定し公表しました。

この計画にもとづき、平成17年の7月から「福岡空港の総合的な調査に係るPI（ステップ1）」を実施し、12月にステップ1を終了し、ステップ2に進むことを決定しました。

今回のPI（ステップ2）は、「対応策検討の前提条件」を対象とするものであり、PIを実施するにあたっての福岡空港調査PI（ステップ2）実施計画を、平成16年9月に実施したPIに関するアンケートや、PI（ステップ1）において寄せられたご意見や福岡空港調査PI有識者委員会の助言などを踏まえ、幅広い参加が期待できるシンポジウムや、説明会、オープンハウスの充実、PIレポートの情報入手の容易化などについて検討し、策定しました。

今回のPI（ステップ2）の実施にあたっては、皆さんにおかれましては、積極的にご参加の上、たくさんのご意見をお寄せいただくようお願いいたします。

平成18年2月

福岡空港調査連絡調整会議

- 目 次 -

福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画

1	福岡空港調査 P I (ステップ 2) 実施計画の策定にあたっての基本方針	1
2	対象とするステップと目標	3
3	実施時期および期間	4
4	提供する情報内容	5
5	情報提供および意見収集の方法 (P I 手法)	6
6	収集した意見の取扱い	8
7	P I の終了	9
8	本実施計画策定について	1 1

<資料>	P I 手法の概要	1 5
------	-----------	-----

<参考>	1 「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(PI計画)の概要	
	2 福岡空港の総合的な調査の概要	
	3 P I (ステップ 1) の概要	
	4 福岡空港調査 P I 有識者委員会規約	
	5 関係機関のホームページ、情報提供窓口等	

福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画

- ・この福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画は、「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」(以後「PI計画」という)にもとづき、PI(ステップ2)のPIの方法等を明らかにするための計画です。

➤ PI(パブリック・インボルブメント)とは

- ・市民等を対象に施策の内容等について情報提供、意見収集を行い、地域のニーズにあったより良い施策の選定とその施策に対する意思決定を支援するプロセス

1 福岡空港調査PI(ステップ2)実施計画策定にあたっての基本方針

十分な周知広報を実施します。
多様で適切なPI手法を選定します。
わかりやすい情報の提供を実施し、寄せられたご意見とそれに対する考え方を公表します。
中立・公正なPIを実施します。
適切な時間管理に努めます。

(1) 十分な周知広報の実施

- ・PIの実施にあたっては、福岡空港の重要性、影響範囲の大きさ等から幅広く、多くの市民等の皆さんにPIの実施について知っていただくことが必要です。
- ・周知広報の充実については、PI(ステップ1)においてもご意見をいただいております。今回のPIの実施にあたっても留意します。

(2) 多様で適切なPI手法の選定

- ・PI参加者が参加しやすい方法で実施します。
- ・PI(ステップ2)の検討内容、PIの目標に合わせた多様で適切な情報提供と意見収集の手法を選定します。
- ・市民等の皆さんのニーズにあった手法を選定します。

PIの実施状況等により見直すなど柔軟に対応します。

(3) わかりやすい情報提供と意見等の公表

- ・PI(ステップ2)で提供する情報は、将来を想定した情報や、専門的、技術的な情報が含まれることから、福岡空港調査連絡調整会議において市民等の皆さん

にわかりやすくとりまとめて提供します。

- ・とりまとめのもととなった調査等情報についても、他の調査等情報と区分して、公表します。
- ・寄せられたご意見については、個人が特定できる情報を除いて集約し、P I（ステップ2）の内容に照らしてどのように対応するかなど、福岡空港調査連絡調整会議がP I実施主体としての考え方も併せてとりまとめ、公表します。

（４）中立・公正なP Iの実施

- ・P Iの実施に関し、「P Iの開始時」「P I実施期間内」「P Iの終了時」など、P Iのプロセスにおいて、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の監視、評価・助言を受けます。
- ・福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の評価や助言については、誠実に対応します。これらについても福岡空港調査連絡調整会議のホームページで公表します。

（５）適切な時間管理

- ・P I（ステップ2）の内容、P Iの目標等を勘案し、迅速な情報提供、意見収集、時機を失しない判断など、適切な時間管理に努めます。

2 対象とするステップと目標

本実施計画は、検討プロセスのP I（ステップ2）「対応策検討の前提条件」を対象とします。

P I（ステップ2）では、地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測について情報を共有し、意見を十分に把握することを目標とします。

- ・今回のP Iは、総合的な調査の段階を踏んだ検討の第2ステップ「対応策検討の前提条件」に対応するものです。
- ・このP I（ステップ2）は、地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測といった今後の対応策の検討を進めていく際の前提条件となる情報を、市民等の皆さんと共有し、ご意見を十分に把握することを目標とします。

（想定される論点）

- ・福岡空港が果たすべき役割はなにか？
- ・今後の航空需要はどうなるのか？

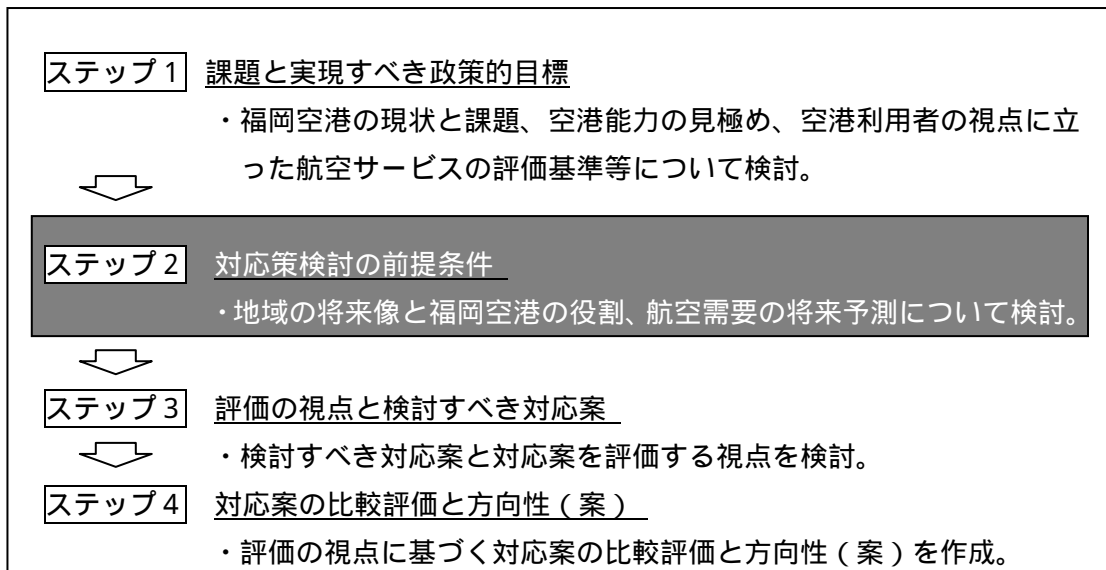


図 対象とするステップ

3 実施時期および期間

PI（ステップ2）は、平成18年度に実施します。
PIの実施期間は、概ね3ヶ月程度を目安とします。

（1）実施時期

- ・PI（ステップ2）は、調査等情報が整理され、準備が整い次第、平成18年度に実施します。
- ・具体的な開始時期等については、準備状況等を総合的に勘案し、福岡空港調査連絡調整会議において決定し、公表します。

（2）実施期間等

- ・たくさんのご意見を頂くためには、市民等の皆さんの関心と参加が得られやすいよう一定期間に高い密度の情報提供等を集中して実施することが必要であること等から、PIの実施期間は3ヶ月程度を目安として実施します。
- ・開始時期は、福岡空港調査連絡調整会議の決定を経て、ホームページに提供情報等を公開し、または、提供情報であるPIレポート等の配布を開始する時期とします。
- ・PIの終了は、情報提供、意見収集、ご意見と実施主体の考え方の公表、福岡空港調査PI有識者委員会の評価などを経て、福岡空港調査連絡調整会議で決定し、公表します。

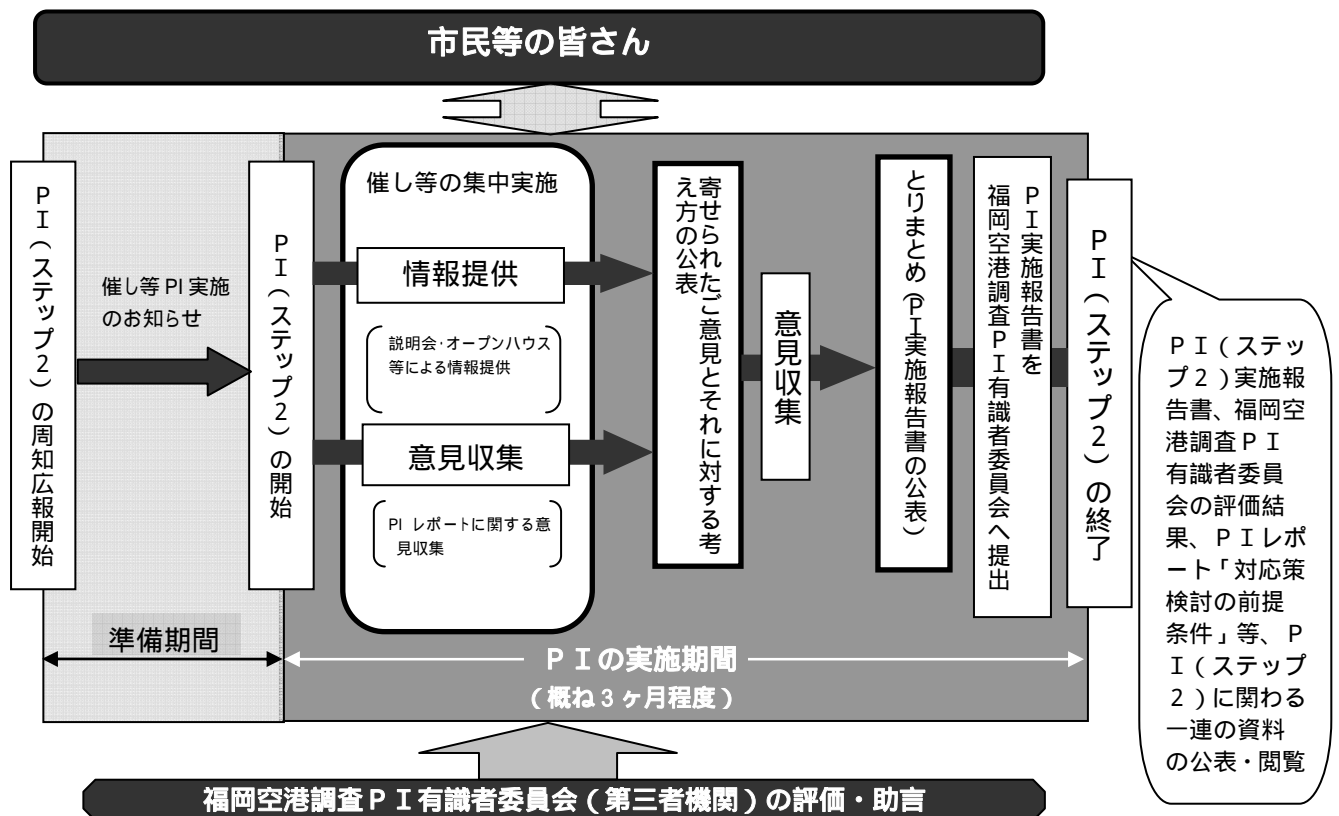


図 PI（ステップ2）の進め方イメージ

4 提供する情報内容

地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測といった今後の対応策を検討するための前提条件となる事項について提供します。

これらの情報は、P I実施主体（福岡空港調査連絡調整会議）においてP Iレポートとしてとりまとめ、わかりやすい形で市民等の皆さんに提供します。

レポートのもとになった調査等情報についても公表します。

- ・ P I（ステップ2）では、今後の対応策検討の前提条件となる事項である「地域の将来像と福岡空港の役割」「航空需要の将来予測」について検討情報を提供します。
- ・ 提供する情報は、P I実施主体（福岡空港調査連絡調整会議：以下同じ）においてわかりやすくとりまとめ、P Iレポート、P Iレポート詳細版として提供します。
- ・ このP Iレポートのもととなった調査等情報についても、ホームページや関係行政機関の情報提供窓口等で公表し、閲覧できるようにします。
- ・ P I参加者のご意見や、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言等により、追加や補足の資料とりまとめを行った場合には、これについても公表します。

表 提供情報

提供情報	情報の内容
地域の将来像は？ 福岡空港の役割は？	地域のビジョンや社会の動向等をもとにした地域の将来像やその実現に向けた福岡空港の役割について、検討情報を提供します。
将来の航空需要は？	福岡空港の将来の航空需要について予測の考え方や予測結果について、検討情報を提供します。

5 情報提供および意見収集の方法（P I手法）

P Iの開始に先立ち、十分な周知広報を実施します。

情報を容易に入手でき、ご意見を表明できるP I手法を実施します。

P I参加者は、空港利用者をはじめ福岡県民、福岡市民など幅広い市民等の皆さんを想定します。

（1）P I実施に関する周知・広報

P Iの開始にあたっては、事前にP I実施の概要を

- ・関係行政機関の広報手段による広報
- ・報道機関への情報提供
- ・各種メディアでの告知
- ・ホームページへの掲載

等により、幅広くお知らせします。

（2）情報提供および意見収集の方法

- ・P I（ステップ2）において提供する情報は、今後対応策の検討を進めていく際の前提条件となる事項である福岡空港の役割や将来の需要予測などに関するものとなります。
- ・市民等のみなさんから幅広くご意見をいただけるよう、情報をわかりやすい形で提供します。
- ・市民等のみなさんがいずれかの手法により、情報を入手でき、ご意見を表明できるような情報提供・意見収集の方法を工夫します。

（3）想定するP I参加者

- ・福岡空港の広域性、影響範囲の大きさ等から、幅広い市民等の皆さんの参加を想定し、ホームページ等の活用により、県域、住所や空港利用の有無に関わりなく情報を提供して、ご意見を収集します。
- ・空港や駅での資料配布、ホームページの活用等により、市民等の皆さんが幅広く参加できるよう留意します。

（想定するP I参加者）

- ・福岡空港の周辺地域住民およびその関連自治体
- ・福岡県民、福岡市民
- ・福岡空港利用者（居住地等に関わり有りません）
- ・県内地方自治体
- ・福岡空港の利用企業、航空会社、空港・航空関連企業
- ・地元経済団体
- ・福岡空港に関心を有する国内外の個人および団体
- ・その他

具体的な情報提供・意見収集の方法等は、次ページ参照。

表 ステップ2のPI手法と実施期間

手法	PI参加者				
	福岡県民 福岡市民 福岡空港の 周辺地域住 民および関連 自治体	空港利用 者	県内地方 自治体	空港利用 企業、航空会 社、空港・航 空関連企業、 地元経済団 体	福岡空港に 関心を有する 国内外の個人 および団体
周知・広報	・関係行政機関の広報手段等各種メディアによる広報 ・ホームページへの掲載 ・報道機関への情報提供				
PIレポートに関する情報提供・意見収集	PIレポートの配布	PIレポートを配布する	・インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口等に設置 ・シンポジウムや説明会やオープンハウス、懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載 ・県外での配布も検討		
	PIレポート詳細版の配布	PIレポート詳細版を配布する	・インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口等に設置 ・シンポジウムや説明会やオープンハウス、懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載		
	シンポジウム	PIレポートの内容に関連した、学識者・有識者等によるパネルディスカッションを開催し、意見収集を行う	福岡市内で開催		
	インフォメーションコーナー	福岡空港のPIに関する総合的な情報提供を行い、意見収集を行う	福岡県庁、福岡市役所、福岡空港内に設置	-	-
	HPへの情報掲載	PI実施主体のホームページに情報を掲載し、意見収集を行う	-		
	説明会	PIレポートの内容についての説明会を開催し、意見収集を行う	福岡市、福岡地域、北九州地域、筑後地域、筑豊地域にて開催	-	-
	懇談会	PIレポートの内容について懇談し、意見収集を行う	・空港利用企業、航空会社、空港・航空関連企業、地元経済団体、福岡空港に関心を有する個人及び団体との懇談会を開催	-	-
	オープンハウス	PIレポートの内容についての展示や説明を行い、意見収集を行う	福岡市、福岡地域、北九州地域、筑後地域、筑豊地域にて開催 ・他県での開催も検討	-	-
	見学会	空港の現状や利用状況等について現場の見学会を開催し、意見収集を行う	福岡空港にて開催を検討	-	-
	パネル展示	PIレポートの内容についての展示を行い、意見収集を行う	・大学等を検討	-	-
	グループヒアリング	提供情報などについての市民等の意識やニーズについてグループヒアリング手法による意見収集を行う	-	-	-
	寄せられたご意見と考え方の公表・意見収集	・寄せられたご意見とそれに対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方を公開、配布するとともに、これに対する意見収集を行う	・国、県、市の情報窓口やインフォメーションコーナー、ホームページ、市町村の窓口への設置等		



□は、意見提出期間を指す。

6 収集した意見の取扱い

収集したご意見は、「寄せられたご意見とそれに対する考え方」として、とりまとめ公表します。

寄せられたご意見や福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の助言により追加や補足資料のとりまとめを行う必要がある場合は、迅速に対応し、ホームページ等で公表します。

（1）意見および意見に対する考え方等の公表

- ・説明会、懇談会等の催しについては、実施結果の概要をとりまとめ、ホームページに掲載することとし、発言された主なご意見等は、個人等に関わる情報を除いて実施結果の概要に含め、公表します。
- ・P Iレポート等提供情報に関するご意見の提出期間については、予め公表し、その期限を目処にご意見を集約し、「寄せられたご意見とそれに対するP I実施主体の考え方」をとりまとめて公表します。
- ・この「寄せられたご意見とそれに対する考え方」に対してもご意見を収集します。
- ・これらのご意見は、最終的にP I（ステップ2）実施報告書にとりまとめ、公表します。

（2）追加および補足のとりまとめ

- ・寄せられたご意見については、P I実施主体である福岡空港調査連絡調整会議の構成機関において随時共有し、追加や補足の資料とりまとめが必要と判断される場合は、迅速に対応し、公表します。
- ・福岡空港調査P I有識者委員会の助言によって追加や補足資料のとりまとめが必要な場合も、速やかに対応し、公表します。

7 P Iの終了

P I実施主体として当初の目標が達成されたかどうか、まず判断します。
P I実施主体として当初の目標が達成されたと判断した場合は、P I（ステップ2）実施報告書を取りまとめ、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）に提出し、評価や助言を受けます。
...このP I（ステップ2）実施報告書および福岡空港調査P I有識者委員会の評価や助言についても公表します。
福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の評価や助言を踏まえ、P I（ステップ2）を継続するか、終了するかを総合的に判断し、公表します。

（1）目標達成の判断

- ・提供した情報の周知や意見集約の状況などについて、P Iの実施を通して把握し、目標が達成されたかどうかを総合的に判断します。

表 判断する際の考え方の例

視点	考え方(例)
情報が市民等に十分に周知されたか。	・提供した情報が広く市民等に伝わったか。
市民等から幅広く意見が収集されているか。	・県民、市民、空港利用者、企業など、幅広い皆さんから意見が寄せられているか。

（2）P I（ステップ2）実施報告書の作成と提出

- ・目標を達成したと判断される場合には、P Iの実施状況、寄せられたご意見とそれに対する考え方などをとりまとめたP I（ステップ2）実施報告書を速やかに作成し、公表するとともに福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）に提出します。

（3）福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）の評価や助言とその公表

- ・提出したP I（ステップ2）実施報告書は、福岡空港調査P I有識者委員会（第三者機関）によって内容が評価され、必要に応じ助言がなされます。
福岡空港調査P I有識者委員会は、評価に際し、必要がある場合は、P I実施主体に実施関係資料の提出を求め、また、ヒアリングすることなどができます。
- ・P I（ステップ2）実施報告書に関する評価や助言については、公表します。

(4) P I (ステップ2) の終了と結果の公表

- ・ P I実施主体は、福岡空港調査 P I 有識者委員会（第三者機関）の評価や助言を踏まえ、P Iを継続するか、終了するかどうかを総合的に判断し、その判断結果を速やかに公表します。

8 本実施計画策定について

本実施計画は、平成16年6月に策定した「福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方」を基本とし、平成16年9月に実施した「福岡空港の総合的な調査に係るPI実施計画」作成にあたっての意見収集アンケートの結果を踏まえ、平成17年度に実施したPI（ステップ1）でいただいた「PIに関するご意見」および福岡空港調査PI有識者委員会の助言を参考として作成しました。

- ・PIの取り組みについて

「今後の取り組みに期待する」といったご意見が多く寄せられた一方、PIに関する広報強化や多くの方が参加しやすい催しについてのご要望をいただいております。これを踏まえて、PI（ステップ2）では、周知広報の取り組みと併せてシンポジウムなど、幅広い参加が期待できる催しを取り入れました。

- ・PIの催し等について

PIの催し等については、ご意見をお寄せいただいた方のうち、約3割の方が催しに参加いただいております。その評価として、「満足」「ほぼ満足」「普通」とお答えいただいた方が、86%に達しておりますが、さらに拡充を望まれるご意見もあることから、説明会や懇談会、オープンハウス等の活動を充実させることを検討します。

- ・PIレポート等について

PIレポートは、「わかりやすかった」「普通」と答えられた方で全体の8割強を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えられますが、一方で、記述されたご意見の中には、わかりにくい、また、内容を充実すべき等のご意見や偏向的ではないかとのご意見も寄せられており、PIレポートの作成にあたって留意することとしております。

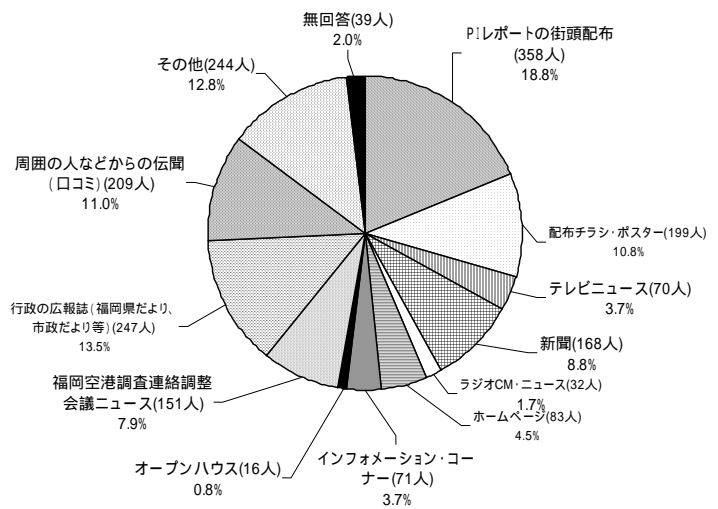
PIレポートは、わかりやすく、また、見やすくするため、調査結果の概要を示したものを作成します。また、PIレポートの詳細版も作成しますが、詳細版は数が限られるため、閲覧方法や入手方法について、ホームページ、国、県、市の情報提供窓口等でご紹介することとします。

PIレポートの配布に際しては、ご意見が提出しやすいよう、わかりやすく記載しやすい、ご意見提出のための用紙等を添付します。

参 考 1 : P I (ステップ1) でいただいた「P Iに関するご意見」の概要

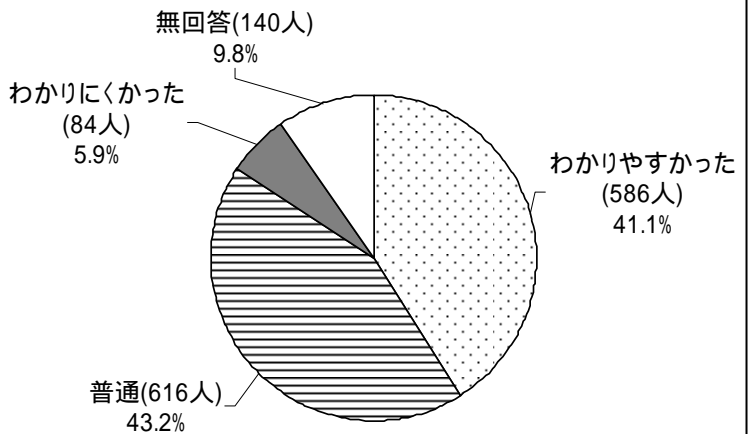
今回のP I (ステップ1) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

多様なメディアを介してP Iについて周知されており、P I (ステップ1) で実施した手法は、いずれも効果があったと考えられます。特に「P Iレポートの街頭配布」「配布チラシ・ポスター」が、全体の3割近くを占めており、この手法についてはステップ2でも実施していくこととしています。



P Iレポートはわかりやすかったですか。

「わかりやすかった」「普通」を答えた方で全体の8割強を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えます。



参加した催しは何ですか(グラフ左) またその印象はいかがでしたか。(グラフ右)

催しに参加された方は、全体の約3割の方ですが、その評価として、「満足」「ほぼ満足」「普通」とお答えいただいた方が、86%に達しており、概ね適切であったと考えられます。

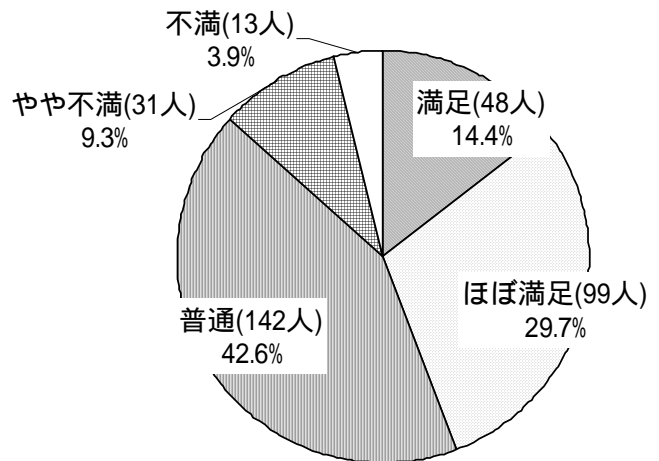
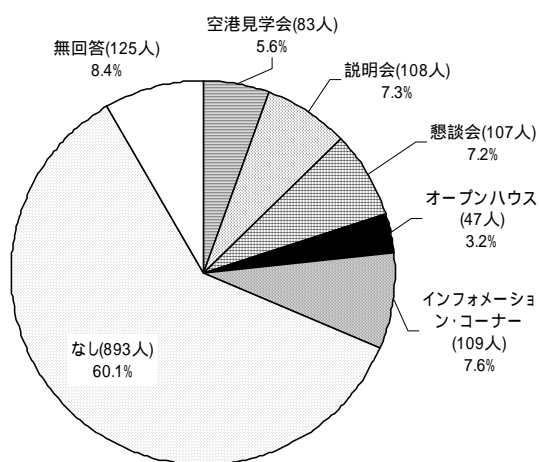


表 P I (ステップ1) で寄せられた「P Iに関するご意見」の概要と意見に対する考え方

内容		意見に対する考え方
P Iの取り組みを評価する意見、P Rの強化や催し充実などへの意見など、肯定的な意見が多く寄せられました。一方、P Iの取り組みやP Iレポートについて偏っているのではないかと意見、レポートがわかりにくいなどの意見、時間管理をしっかりと行うべきとの意見もありました。		P Iについては、透明性、公正さを基本に、実施しています。今後、検討の段階、ステップに応じて、P Iを実施することになりますが、皆様からの意見を踏まえつつ進めて参りたいと考えます。また、P Iレポートは、客観的な資料、データに基づき、整理、分析し作成しており、レポート作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開し、透明性を確保しながら作成しています。今後、P Iレポート等はよりわかりやすい内容とするよう工夫するとともに、皆様の一層の信頼が得られるよう努力して参ります。
1.P Iの取り組みに対する意見	168 件	1 福岡空港の総合的な調査に係るP Iは、透明性、公正さを確保しながら、幅広く皆様に情報を提供し、それに対する皆様の意見を検討に反映していくことを目的として実施しています。また、福岡空港の総合的な調査の進め方に関しても、審議の過程や調査報告等をホームページで公開するなどしています。P Iへの取り組みの評価や取り組みについての広報等への意見を踏まえつつ、今後も工夫し、皆様の期待に応えられるよう、また、適切な時間管理のもと進めて参ります。
今後の取り組みに期待する等の意見	76 件	
P Iの取り組みへの懐疑的な意見	23 件	
時間管理に関する意見	15 件	
P Iの取り組みの広報強化などに関する意見	54 件	
2.P Iの催し等に関する意見	68 件	2 P Iの催し等については、P Iの各ステップの内容に合わせ、多くの皆さんが参加しやすい方法を選定し、各ステップ毎に実施計画としてとりまとめ、公表することとしています。今後の実施計画の作成に当たって意見を参考とさせていただきます。
催しの評価や拡充のための提案などの意見	64 件	
P Iを縮小、やめるべきとの意見	4 件	
3.P Iレポートに対する意見	174 件	3 P Iレポートについては、わかりやすさを旨としてとりまとめているますが、内容が広範にわたることからパンフレット版以外にその詳細版を、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ、福岡県、福岡市の情報窓口、福岡空港などのインフォメーションコーナー等でご覧いただくようにしています。今後も、情報が皆様にわかりやすく伝わるよう努力していきたいと考えます。また、今回のP Iレポートの内容については、「福岡空港の現状と課題」、「空港能力の見極め」について、客観的な資料、データに基づき、整理、分析しています。このレポートの作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開しており、内容の取りまとめに関してもオープンに進めています。今後、より一層の皆様の信頼が得られるよう努力して参ります。
興味深いとされるなどの意見	53 件	
偏向的ではないかと意見	56 件	
わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	65 件	
4.その他	44 件	-

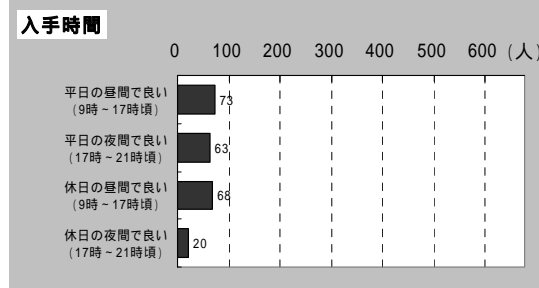
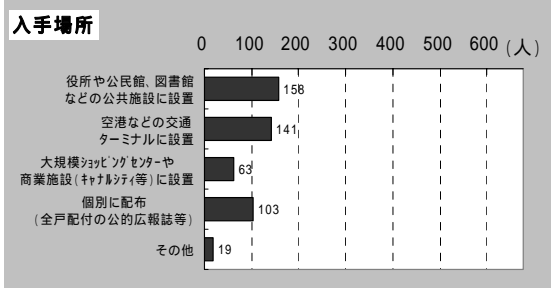
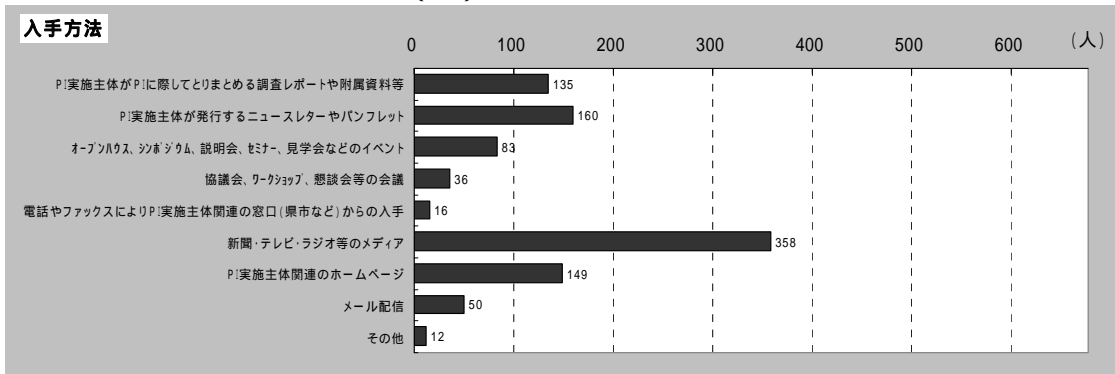
P Iに関する意見数（395件）と表中の意見件数は、1件で複数の項目に意見をしている場合が見られるため、合計は一致しない。

**参 考 2：「福岡空港の総合的な調査に係る P I 実施計画」作成にあたっての
意見収集アンケートの概要**

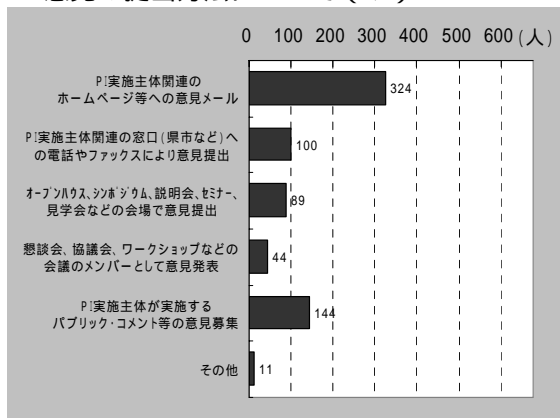
実施期間	2004 年 9 月 29 日～10 月 18 日 (Web20 日)
配布方法	郵送、空港・駅等での配布、県市情報提供窓口、市町村への配布、福岡空港連絡調整会議関係機関 HP による Web アンケート等
回収方法	郵送、Web、街頭聞き取り、ファックス
回収数	677 名

アンケートの集計結果 (P I 実施関係)

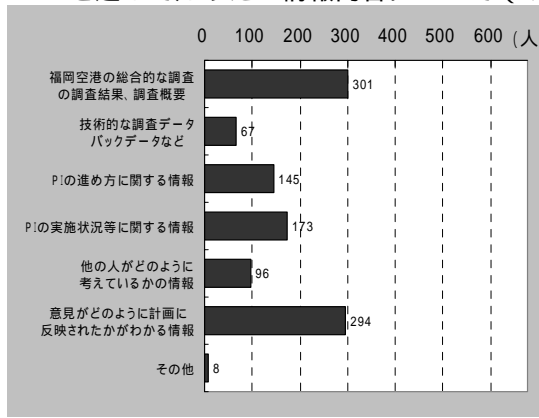
情報の入手方法や場所について (Q5)



意見の提出方法について (Q6)



P I を通じて知りたい情報内容について (Q7)



なお、本意見収集アンケート概要については、平成 16 年度第 2 回福岡空港調査連絡調整会議資料として公表済み。